



Vol. 12
2019年3月
発行責任者：
自由民主党
岩手県支部連合会

自民党

自由民主党 いわて県連だより

「私の決意」

②

「復興と希望の持てる岩手をつくる」

岩手県議会議員 城内 愛彦（宮古選挙区）



東日本大震災津波発災から8年が経過し、復興事業も仕上げの段階に入ってきました。3月23日には、JR山田線が三陸鉄道として再開します。また6月1日からは「三陸復興プロジェクト」の開催、さらには9月、10月には「ラグビーワールドカップ2019」の開催と、来年度は沿岸部が賑やかになります。しかしながら、復興は道半ば。被災地に元気をとり戻すために、これまで以上に皆様の声を県政・国政へ届けてまいります。

「安心で住みよい岩手へ！」

岩手県議会議員 神崎 浩之（一関選挙区）



県民の皆様のアンケートを見ると「老後が心配」、「介護・医療が心配」という声を聞きます。従来からの私のテーマであります「医療・福祉・介護」の充実で「心配のない岩手」をつくっていきます。今回の選挙は、県議3期目の挑戦となります。自民党県議として頻繁に自民党本部、並びに中央省庁へ要望を行っております。一関選挙区では、5人区の中の唯一の自民党県議として、地域の課題解決ため、このパイプを太くしていきます。

「未来を担う子どもたちのために」

岩手県議会議員 川村 伸浩（花巻選挙区）



東日本大震災津波から8年が経過しました。震災からの復興が最優先であります。そして最重要である、岩手県の産業振興に取り組みます。基幹産業である農業の振興、商工業振興を中心とした中小企業対策は重要です。さらには「観光立県いわて」として交流人口の増大にも全力で取り組みます。未来を担う子どもたちが「夢」を実現できるように、そして、これからの岩手県を力強く牽引するためにも、地域と県、そして国へのパイプ役として頑張ってまいります。

平成最後の「第86回自民党大会」開催



全国から有志が参集し決意を新たにされた党大会

平成最後の定期大会となる第86回自民党大会が、2月10日、東京都内において盛大に開催されました。全国から約3500人の党員・党友が参集し、統一地方選挙や参議院選挙の勝利に向けた運動方針の採択や、岩手県選挙区 平野達男氏を含む全国の参議院選挙区、比例の公認候補者紹介などが行われました。本県からは、国会議員、代議員、優秀党員表彰者、青年・女性代表など20名が出席し、政権政党として新たな時代を切り拓く決意を、全国の有志の皆様と共有しました。

議事に先立ってリハビリ中の谷垣禎一元総裁がスピーチを行いました。谷垣元総裁が党の行事に参加するのは、平成27年の事故後初めてのことでしたが、現役時代と変わらぬ力強い言葉に会場からは大きな拍手が沸き起こりました。大会前日には、党本部で全国幹事長会議や青年部・青年局・女性局合同全国大会、全国憲法改正推進本部長会議などが開催され、岩手県連からは担当役員が出席しました。

岩手県議会議員選挙 自由民主党 追加公認決定

○久慈選挙区【公認】



清水 恭一（67）
元・（1期）

今年の9月10日の任期満了に伴う、岩手県議会議員選挙に向け、県連選挙対策委員会役員会で、追加公認1名が決定されました。3/4現在、公認13名・推薦1名が決定しております。

【注】氏名、年齢、当選回数、経歴